

「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」 第3回推進会議の概要について

「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」の第3回推進会議を、平成25年3月21日（木）に開催しました。

第3回推進会議には、7名の委員のうち6名の方々にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして国立大学法人三重大学教育学部教授の山田 康彦氏にご出席いただきました。

なお、第3回推進会議の概要は、以下のとおりです。

「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、50音順、カッコ書は役職

石川 正浩（サポーターいっちゅう 事務局次長兼広報部長）

太田 浩司（三重県PTA連合会 顧問）

瀬古 久美子（松阪市立大江中学校 校長）

田尾 友児（三重県立紀南高等学校 学校運営協議会 委員）

※田尾委員はご欠席

西岡 慶子（株式会社光機械製作所 代表取締役社長）

宮路 正弘（三重県立飯野高等学校 校長）

山田 忍（スクールカウンセラー）

ファシリテーター

山田 康彦（国立大学法人三重大学 教育学部 教授）

<推進会議の進行概要>

会議の大まかな進行は以下のとおり

開会 10:00

- ・教育長あいさつ
- ・事務局による資料の概要説明
「平成25年度当初予算について」
「推進会議での主な意見と対応状況」

プロジェクト推進についての意見交換

- ・翌年度の展開等について意見交換を実施

平成25年度の開催予定

閉会 12:00

（真伏教育長あいさつ、県事業の説明）

冒頭、真伏教育長から委員の皆さんに本日の会議の開催趣旨を説明しました。

その後、事務局より「平成25年度当初予算と取組概要」について説明しました。

■平成25年度当初予算編成にあたっての基本的な考え方（教育委員会関係）

変化の激しい時代を生きる子どもたちには、基礎的・基本的な学力に加え、さまざまな課題に対して自ら考え判断し、主体的に対応する力や、周囲と共に支え合い新しい社会を創造していく力が求められています。

また、いじめ等の問題が大きく取り上げられる中、子どもたちが安全で安心して学ぶことができる環境を整備することが喫緊の課題となっています。

こうした認識のもと、次の5項目について重点的に取り組みます。

- ①「学力の向上」
- ②「安心して学べる環境づくり」
- ③「特別支援教育の充実と障がい者雇用の推進」
- ④「子どもの体力向上」
- ⑤「学校における防災教育・防災対策の推進」

※以後5つの項目毎に主な取組を説明



(プロジェクト推進についての意見交換)

続いて、山田教授の司会によりプロジェクトの推進に向けた意見交換を行いました。

各委員からは、日頃の活動を通して感じる子どもの学力向上に向けた課題等について、意見や提案をいただきました。

委員からの主な意見

障がいのある児童・生徒への支援については、特別支援学校だけでなく、普通校に通学する特別支援を必要とする子どもたちにも配慮していただきたい。

保護者や地域が学校を支援する取組が広がりつつあるが、サポーターの獲得が伸び悩んでいる。退職教員の人材バンクを設立するなどの対応ができないか。

また、現職の先生方も地域と関わらなから成長できるのではないか。

大震災における日本人の規範意識の高さが世界から賞賛された。学力だけでなく、こういった誇るべきところを、社会の最小単位である家庭と一緒に育て育む必要がある。

外国人の生徒は、自分の親を立てる子どもが多いと感じる。我々が忘れてい

る大切なものを気づかされるのではないか。

子どもたちには、世の中で役に立つ体験をすることが必要ではないか。隣の人だけでも良いので感謝される人間になっていただきたい。

また、そういった経験を通じて、子どもたちは自らの能力を伸ばしていくのではないか。

学習指導要領の改正や週6日制の検討など、教員が益々多忙化する傾向であることを心配している。研修メニューを充実する際には参加しやすい環境づくりにも配慮いただきたい。

子どもたちの指導にあたっては、他人との比較ではなく、自信をなくさないための配慮が必要。子どもたちに「～できた」という体験をさせてあげることが大切にしてほしい。

生徒だけでなく教員も、就職することを会社を選ぶことと考えているが、本来は生き方を選ぶことではないか。キャリア教育には、そこまで踏み込んだ考えが必要。

障がいのある生徒の就職では、企業とのマッチングが難しい。企業からは義務化もされており採用したいが、適性にあった生徒が見つからないという声を聞く。

企業では、OJTがしっかりできている企業が強い。教員の研修制度をみると、まだまだ制度に頼っていると感じる。1日10分でも良いので、先輩と後輩が話す時間とれば違いが出てくるのではないか。

など



平成25年度の開催予定

平成25年度は3回の開催を予定。

(開催スケジュール案)

第1回(5月下旬)

【議題】

「24年度成果報告」, 「25年度取組方向」他

第2回(8月下旬~9月上旬)

【議題】

「25年度進捗状況」, 「26年度取組方向」他

第3回(2月中旬)

【議題】

「25年度成果の検証」, 「26年度の具体的な取組」